

# PUSH通信

Vol. 3

Save ALL, Share LOVE みんなを助けよう！愛を分かち合おう！

## “PUSH”の輪



## 全国に拡大中！

PUSHプロジェクトの活動は関西圏に限らず、全国各地で普及しています。本拠地大阪に加え、現在は地域コア団体が6つ（群馬・東京・愛知・沖縄・信州・茨城）ありますので、各地域の取り組みをご紹介します。

### 大阪ライフサポート協会

PUSHの本拠地である大阪では、PUSHモデル校の推進活動をはじめ、グランフロント大阪での定期開催や大阪マラソンスタッフ・参加者を対象としたコースの開催、など幅広く活動しています。  
また、今年度も「全国でPUSH！運動」を健康ハートの日（8月10日）の前後で行います。全国多くのみなさんのご参加を心待ちにしています。



### 群馬PUSH

昨年「市民提案型パートナーシップ事業」に採択され、前橋市および前橋市消防局と協同で市内小中学校へPUSHコースを行い「心肺蘇生法と命の尊さを学ぶ授業」を推進しています。これまでの開催数は34回、受講者数3,607人にも上っています。

\*データは2016年4月から2017年3月のもの。



### 沖縄PUSH

沖縄は学校での講習会の開催が多く、小学校27回、中学校33回、高等学校34回（2017年3月までの累計）という学校PUSHのお手本のように順調に普及活動を行っています。  
この地域のインストラクターはみんなキャラが濃く、非常にゆかいな講習を展開しています。詳細はぜひホームページを！



### 東京PUSH

東日本を統括している「東京PUSH」ですが、2ヶ月に1回の定期開催で、プレインストラクターの勉強と評価の場を設け足元を固めています。  
新潟PUSH立ち上げのサポートとして医師へのフォローも進めており、指導者養成コースの定期開催も順調です。全国展開の役割も担ってくれています。



### 信州PUSH

警察や企業からワンコイン500円を徴収しPUSHコースを開催しています。転勤の多い警察官ですが、上田市警察署で継続してコース開催できれば、多くの警察官に心肺蘇生法を普及できることと精力的に取り組んでいます。

### 愛知PUSH

立ち上がったばかりですが、認定インストラクターとなった大学の先生が授業の一環としてPUSHコースを取り入れています。これからさらに認定インストラクターを増やすとともに、受講生募集についてもNHKラジオの協力を仰ぐとのこと。



### 茨城PUSH

つくば市教育委員会と連携して、全小中学校から50名の教員が参加する「PUSH+開き方講座」を実施しました。これからは、つくば市消防と協同で定期的に学校教諭への教育を行い、教諭が「学校を守る」という意識を根付かせていきたいとのこと。

# 新 学 習 指 導 要 領



## こう変わる！！

2017年2月14日公表された『小学校学習指導要領案及び中学校学習指導要領案』に対して、大阪ライフサポート協会は日本臨床救急医学会や日本AED財団などと合同で意見書（パブリックコメント）を提出しました。

◀以下、意見書の内容を一部抜粋▶

1. 小学校での心肺蘇生、AEDに関わる教育の位置づけを進めること。少なくとも、学校や公共施設にあるAEDに関する理解を図り、緊急時に119番通報やAEDの手配、心肺蘇生の実施などについて、大人の手助けができる能力を指導すべきであること。これは、子供たち自身の安全に繋がることからぜひ、具体化いただきたいと思えます。
2. 中学校では、「心肺蘇生など」の表現ではなく、「心肺蘇生を実施し、AEDを活用すること」と、AEDを明示した表現にすること。また、実習を徹底すること。AEDは突然の心停止からの救命のカギを握るものであり、かつほぼすべての学校、地域社会に存在する社会環境になっており、本文中にAEDに関する具体的言及をすること、実習を通じて確実な理解・定着を促すことは非常に重要と考えます。
3. 小・中とも、体育、保健体育以外の場面でも一次救命処置（心肺蘇生+AED）の教育が展開できるよう、解説や指導資料などで促進すること。

### Answer

#### 新学習指導要領における心肺蘇生教育の位置づけ

- **小学校**（H29改訂H32全面实施）  
現行版から追加・変更はなく、心肺蘇生教育の規定なし
- **中学校**（H29改訂H33全面实施）  
保健体育〔保健分野〕 2内容  
(3) **傷害の防止について課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。**  
ア 傷害の防止について **理解を深めるとともに、応急手当をすること。**  
(I) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、**心肺蘇生法などを行うこと。**  
イ **傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。**

\*赤太文字…改定された部分（内容）

### 一部の児童・生徒だけ

#### 学校での心肺蘇生教育の実態調査

平成27年度実績	全ての児童生徒対象	一部の児童生徒対象
<b>小学校</b> 6,074校 (30.3%)	816校 (4.1%)	5,258 (26.3%)
<b>中学校</b> 7,307校 (71.2%)	2,876校 (28.0%)	4,431校 (43.2%)
<b>高等学校</b> 4,093校 (81.2%)	1,365校 (27.1%)	2,728校 (54.1%)
<b>中等教育学校</b> 41校 (80.4%)	13校 (25.5%)	28校 (54.9%)
<b>特別支援学校</b> 259校 (23.2%)	56校 (5.0%)	203校 (18.2%)

文科省「学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査」  
(H27年度実績)

学校での心肺蘇生教育の実施形態について、これまで詳細に調査したものはなく**実施の有無のみ**明らかにされてきました。今回、文科省が明らかにしたのは「心肺蘇生教育が全ての児童生徒に行われているのか」それとも「一部の児童生徒にとどまっているのか」ということです。

調査の結果は、上図のとおりほとんどの学校で一部の児童生徒のみに指導しており、学習指導要領に教育の実施が明記されている高等学校でさえも全生徒に指導している学校は3分の1程度しかありませんでした。

この結果から、一層の普及活動と小学校から高等学校まで系統立てた教育の実施に向けた環境整備の重要性を強く感じました。



### News 教材

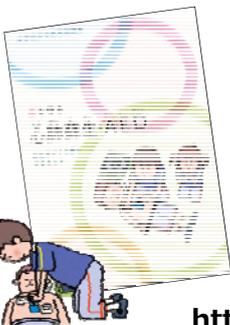
#### 心肺蘇生・AED副読本 無料配布を開始しました

日本AED財団より副読本20万部を無料配布しています！

<配布の条件>

- ① 小学校の授業の中で、実技を含む心肺蘇生・AEDの講習を行う。
- ② 実施後にアンケートに回答する。

減らせ突然死プロジェクトのホームページに、副読本のデータと先生向け解説書を掲載していますので興味のある方はこちらへアクセスしてください↓



<http://aed-project.jp/>



減らせ突然死 検索